

人権の窓 35 「学校での人権学習で」

問 中央公民館 ☎0968・86・2022
和水町人権教育指導員 緒方 正雄

昨年の11月、菊水中央小学校での人権学習の授業研に参加しました。四年生では、自分の家族の仕事調べを通して親の頑張っている姿を伝え合い、みんなをつないでいく授業でした。始めに担任の先生から、「今日は、こたろう君の発表です。自分と重ねながら聞いてほしい」と話がありました。続いてこたろう君が、みんなの前に立ち、緊張しながらも、お母さんから聞き取ったことを発表しました。「お母さんは整体で働いています。整体に行ったら、まず、よもぎ蒸しなどの準備をします。お母さんは、和水と玉名のお店を行ったり来たりして、お客さんに合わせて仕事をするので、遅い日は夜の十時ぐらいまでかかります。お母さんがうれしいことはお客さんが喜んで、辛いことはなかなか家におれないことだそうです。僕は、お母さんがいないのでさみしいけど仕事だからしょうがないと思っています。僕はお母さんが体力を使わなくていいように、朝ごはんを作ること、トイレ掃除をしています。お母さんは多くの誇りです」

クラスの子どもたちは一言も聞き漏らすまいと真剣に聞き、確かめたいことをこたろう君に質問した後発表してくれたこたろう君へ返しの手紙を綴り、書き終えた人からこたろう君へ届けにきました。「僕は自分を優先にするけど、こたろう君はお母さんのことを考えている。かっこいい」「お母さんも、こたろうくんも毎日頑張っている。すごい」「お母さんは、こたろう君が支えになっていると思う」「お母さんは、こたろう君のために、こたろう君は、お母さんのために頑張っている」「お母さんのことを心配しているのはぼくと同じ。僕も肩もみやマッサージをしている」等々。届けるみんなの顔も、照れながら読むこたろう君も、とっても嬉しそうでした。そして今度は、こたろう君が、「みんながちゃんと聞いてくれた。発表して良かった」とみんなに返してくれました。最後に、「私もお母さんが体調を崩さないように頑張りたい」「作文を聞いてよかった。知らなかったから。私も頑張ろうと思った」「こたろう君は、お母さんの気持ちをしつかり考えていた。クラスで行動するときとか、人の気持ちを考えていきたい」と、この時間で学んだことを発表してくれました。

旬のものを簡単アレンジ 「キャベツの春巻き」

問 健康福祉課 保健予防係
☎ 0968・86・5724



【材料（4人分量）】
春巻きの皮……………24枚
キャベツ……………100g
鶏のささ身……………2本
エリンギ……………60g
オイスターソース…小さじ4
塩・ブラックペッパー…各少々
サラダ油……………適量
小麦粉……………大さじ1
水……………大さじ2
人参……………150g
すりごま……………大さじ2
ブロッコリー……………120g

A{

ひとくちメモ&栄養コメント

この1品で、緑黄色野菜・淡色野菜合わせて一人当たり約100gの野菜が摂取できます。



文芸広場

かなしき原俳句会

明るさに潜みし春の寒さかな 弘子
衰へぬコロナウイルス春寒し 誠一
初音して山蘇へりたる精気 貞子
一幹の河津桜を映す川 明
打ち返すほどに親しむ春の土 しん子
娘等も紅を引きたる雛祭 淑乃
朗報の吹き払ひたる春うれひ 康子

菊水短歌会

老若はかわりなしに赤い顔 阪野 章子
カッポ酒わくどんどやの炎に
声交わす朝の散歩路霧の中 荒木 智子
踏む足もとに早やみどりの芽
しろじろと霜置く庭に山茶花の 石山 幸子
くれない散らし最後の化粧
背をまるむ炬燵の吾を招き寄す 池田たかお
今開かんとしたれ紅梅

菊水俳句会

かわいいなちよつと触れば木瓜の刺 原 香代子
年毎に紙の雛折る戦中派 池田 松子
春一番竹林ゆれて豊かなり 中山ミサト
厨より始まる暮らし水温む 宮中 康雄
日溜や忽ち占むる犬ふぐり 永田 紘彦
ひだまりたちま 二瀬 桔梗
ひそひそ話 一夜のうちに過疎の村
力尽き 耕作放棄こもかい 石原かわせみ
にこにこ 朝の挨拶通学路 井上りんどう
暮れかかり 何か寂しい歳になり 瀬上 歌子
言う事なし 未熟児だった影もなし 池田 茜
磨き上げ 高嶺の花になりおった 庄山 道草
めかし込み 我が齢忘れ 張り合わす 後藤 撫子
見苦しか 大の男が愚痴ばかり 福永すみれ
けちんばが 十円探すお賽銭 高木せいや

和水町公民館図書室だより

問 中央公民館図書室 ☎0968・86・2022
三加和公民館図書室 ☎0968・34・3047

開館午前9時～午後10時（年末年始除く） 1回につき1人5冊まで、2週間借りることができます。

新しい出会いが訪れる4月。
自分自身の生活も、今一度見つめ直してみませんか？
今月は、「エコ」をテーマに選んでみました。
ぜひ、手に取ってみてください。



「今こそ持ちたい 手作りのエコバッグ」
株式会社：ブティック社

「プラスチック製のレジ袋を減らすため、有料化や使用制限など、様々な対策が講じられています。そんな今だからこそ、エコバッグを手作りしてみませんか？ …（略）」（本書より引用）初心者でも作りやすい作品が紹介されています。身近なところから、『エコ生活』始めませんか？



「超エコ生活モード ～快にして適に生きる～」
著者：小林 孝信
株式会社：コモンズ

急速に温暖化している地球の現状を考えると、何かしらの行動を起こさねばという危機感があります。便利すぎる生活に慣れてしまった私たち現代人にとって、著者が薦める電気に頼らない生活は「ムリ」と思いがちですが、本書によって発想の転換をもってすればステキな未来が待っているような気がします。今の生活スタイルを見直すきっかけになる一冊です。